


（第1面）

産業廃棄物処理計画書	
令和7年 6月11日	
群馬県知事 あて	提出者 〒370-0723 住 所：群馬県邑楽郡千代田町大字昭和6 氏 名 株式会社フコク 群馬第二工場 工場長 塩野 隆 (法人にあつては、名称及び代表者の氏名) 電話番号 0 2 7 6 - 8 6 - 6 1 9 4
	
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。	
事業場の名称	株式会社フコク 群馬第二工場
事業場の所在地	群馬県邑楽郡千代田町大字昭和6番地
計画期間	令和7年4月1日～令和8年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種類	ゴム製造業
②事業の規模	10,393百万(令和7年3月期 工場出荷額)
③従業員数	546名
④産業廃棄物の一連の処理の工程	別紙1 各種工程表のとおり

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)

別紙-1 全社環境組織図

別紙-2 工場別環境組織(群馬第二工場)

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（令和6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	廃油
	排 出 量	585.6 t	9.5 t
	(これまでに実施した取組) ・ 歩留まり向上 ・ 新工法の検討 ・ 不良低減		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	廃油
	排 出 量	567 t	9.2 t
	(今後実施する予定の取組) ・ 歩留まり向上 ・ 新工法の検討 ・ 不良低減		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・ 廃プラ（ゴムバリ）配合系の分別廃棄
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・ 保管状態と排出方法の検討

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（令和6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	汚泥	木くず
	排 出 量	53.3 t	9.5 t
	(これまでに実施した取組) ・ 使い捨てパレットや梱包の廃止 ・ 工法の改善		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	汚泥	木くず
	排 出 量	51.7 t	8.9 t
	(今後実施する予定の取組) ・ パレット、容器の変更によるリサイクル ・ 汚泥発生場所の工法の変更		

産業廃棄物の分別に関する事項			
①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・ 専用の荷姿		
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・ 混載による出荷検討		

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度（令和6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(今後実施する予定の取組)		

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度（令和6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	0 t	0 t
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0 t	0 t
(今後実施する予定の取組)			

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（令和6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った 産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(今後実施する予定の取組)		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度（令和6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	全処理委託量	0 t	0 t
	優良認定処理業者 への処理委託量	t	t
	再生利用業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者 への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外 の熱回収を行う業者 への処理委託量	t	t
	(これまでに実施した取組)		

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	廃油
	全 処 理 委 託 量	567 t	9.2 t
	優良認定処理業者 への処理委託量	567 t	9.2 t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	510 t	9.2 t
	認定熱回収業者 への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外 の熱回収を行う業者 への処理委託量	t	t
	(今後実施する予定の取組) ・ 工程変更による低減 ・ 優良業者、リサイクル業者へ変更		
※事務処理欄			

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	汚泥	木くず
	全処理委託量	51.7 t	8.9 t
	優良認定処理業者への処理委託量	51.7 t	8.9 t
	再生利用業者への処理委託量	51.7 t	8.9 t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
	(今後実施する予定の取組) ・ 工程変更による低減 ・ 優良業者、リサイクル業者へ変更		
※事務処理欄			

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額(前年度実績)、建設業の場合における元請完成工事高(前年度実績)、医療機関の場合における病床数(前年度末時点)等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程(当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。)を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者)への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者)である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

(別紙1) 産業廃棄物の一連の処理の工程

(株)フコク群馬第二工場

 委託処理

発生源	廃棄物の類		中間処理	最終処分
梱包材	木くず(木パレット等)	⇒	破碎	⇒ バイオ燃料化
	木くず(木パレット等)	⇒	破碎	⇒ 再生利用
	廃プラスチック(圧縮ビニール等)	⇒	焼却	⇒ セメント原料化
生産工程	汚泥(処理槽汚泥)	⇒	混練	⇒ セメント原料化
	汚泥(脱水汚泥等)	⇒	焼却	⇒ 溶融資源回収
	汚泥(カーボン、ショット粉等)	⇒	固形化	⇒ 埋立
	廃プラスチック(ゴムバリ)	⇒	焼却	⇒ 溶融資源回収
	廃プラスチック(ゴムバリ)	⇒	破碎	⇒ 埋立
	廃プラスチック(ゴムバリ、プラ、ビニール等)	⇒	破碎	⇒ 再生利用
	廃プラスチック(雑多物等)	⇒	破碎	⇒ 焼却
	廃油(水溶性廃液)	⇒	焼却	⇒ 溶融資源回収
	廃油(水溶性廃液)	⇒	油水分離	⇒ 溶融資源回収
	廃油(鉱物油)	⇒	油水分離	⇒ 再生利用
	燃えやすい廃油(MEK、IPA等)	⇒	焼却	⇒ 溶融資源回収
その他	汚泥(食堂汚泥等)	⇒	脱水	⇒ 溶融資源回収
	金属くず(乾電池等)	⇒	破碎	⇒ 溶融資源回収
	ガラス陶磁器くず(ガラス、蛍光灯等)	⇒	破碎	⇒ 再生利用